第３学年　技術・家庭科家庭分野　学習の指針（シラバス）

１　学習の目的（教科の目標）

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　家族・家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

⑵　家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

⑶　自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

２　学習計画

	学　習　内　容	学 習 の ね ら い
１学期	①1 年を見越した「家庭科ガイダンス」	・自立した生活を身に付ける意識を付けるために学習内容と目標を立て、意識づけする。
	②住生活の自立 ・住まいの役割 ・共に住まう ・安全な住まい ・災害への備え	・住まいの様々な役割を理解し、住まいに必要な空間とその役割を知る。 ・家族による住まい方の違いを知り、住まいの空間と家族のかかわりに気付く。 ・安全に配慮した住まい方を考え、工夫する。 ・さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について知る。
２学期	③家族・家庭生活	・自分の成長を振り返り、家族や家庭生活とのかかわりについて考える。 ・家庭生活は社会の仕事や社会の仕組みによって支えられていることに気付く。
	④幼児の生活と家族 ・幼児の心身の発達 ・幼児の生活と遊び ・子どもの成長と地域	・幼児の心身の発達を理解する。 ・幼児の生活の特徴を知り、家族の役割について理解し、幼児とのかかわり方を工夫する。 ・幼児の遊びの意義や発達段階に応じた遊びの特徴について理解し、遊びを通して、幼児とのかかわり方を工夫する。
３学期	⑤高齢者の心身の特徴と関わり方	・高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者とのかかわり方を工夫する。

３　評　価

観　　点	評 価 の 内 容	評 価 の 方 法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	定期テスト、ワークシート等で評価します。
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、実践を評価・改善、考察して課題を解決する力をみにつけている。	定期テスト、ワークシート、作品等で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート、作品、授業の振り返り等で評価します。

上記に示した３つの観点から総合的に評価し，成績とする。

４　学力向上のためのアドバイス

・家庭科の学習は、家庭生活や家庭生活を取り巻く社会に目を向けることが学習のスタートです。自分の生活を見つめ、これからの生き方を考え、生活をよりよくするために、何ができるか、共に考えていきましょう。